OData for SAP S4HANA アダプタご紹介

株式会社セゾンテクノロジー

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

目次

■ **製品概要**
- OData for SAP S4HANA アダプタとは
- 連携イメージ
- アダプタ機能一覧

■ **専用アダプタの利点について**

■ **各種処理の設定**
- ODataサービス実行（GET）
- ODataサービス実行（POST）
- ODataサービス実行（PUT）
- ODataサービス実行（PATCH）
- ODataサービス実行（DELETE）
- ODataアクション実行

■ **SAP関連アダプタ機能比較**
- 各種SAPアダプタの機能比較
- 各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

製品概要

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

OData for SAP S4HANA アダプタとは

■SAP S/4HANAと業務システムを連携

OData for SAP S4HANA アダプタとは、SAP S/4HANAと業務システムのデータ連携を実現するアダプタです。

※ OData for SAP S4HANA アダプタは、プロキシサーバ経由での接続に対応していません。

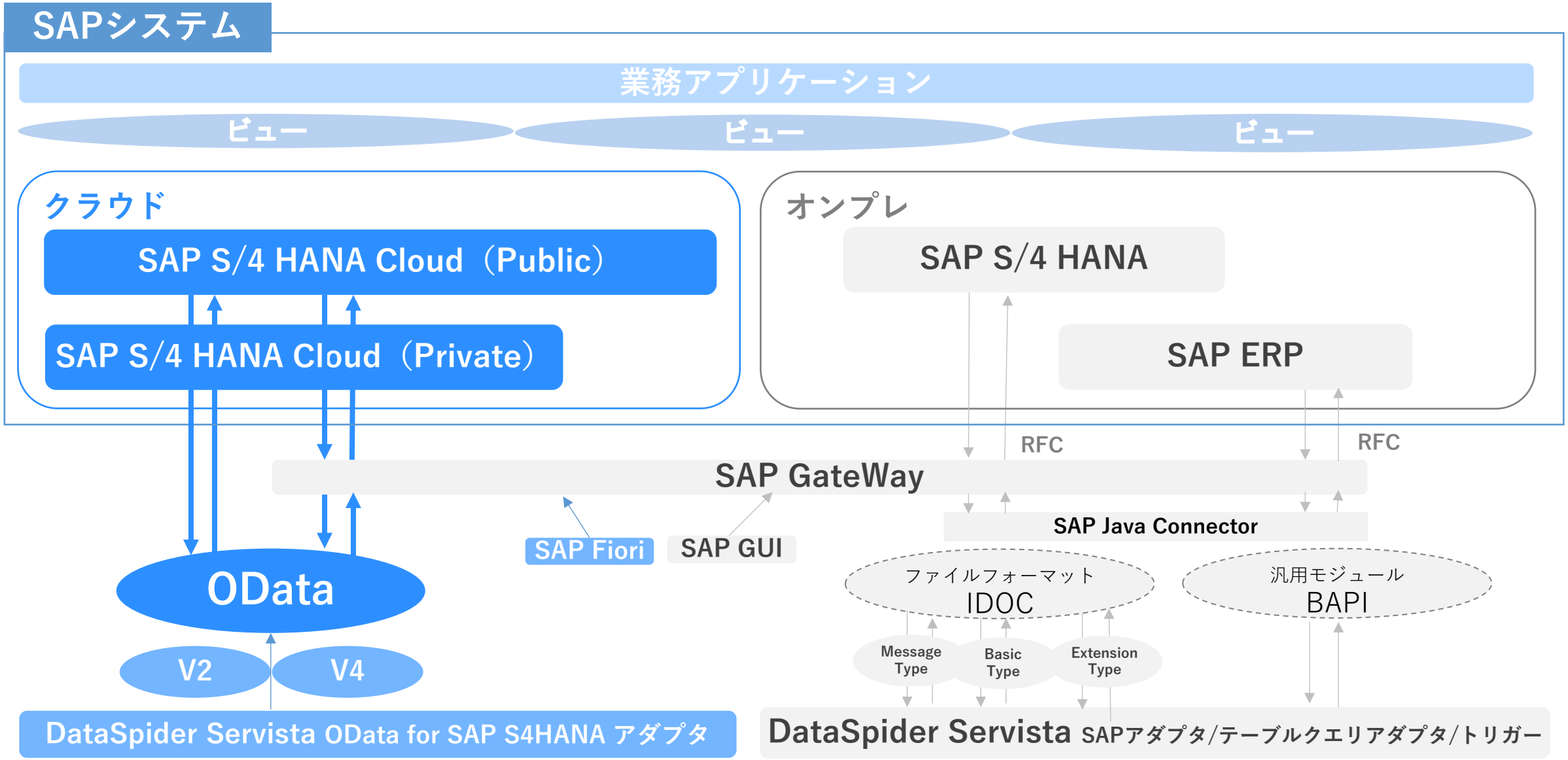
ポイント

DataSpider Servista なら、OData for SAP S4HANA アダプタを利用して
ODataサービス実行・ODataアクション実行などの操作が可能です。

- **ODataを用いたビジネスオブジェクトの取得・登録・更新・削除に対応**

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

SAP連携のイメージ



© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

アダプタ機能一覧

種別	名称	概要説明
処理	**ODataサービス実行（GET）**	SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのGETメソッドで実行します。
	ODataサービス実行（POST）	SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPOSTメソッドで実行します。
	ODataサービス実行（PUT）	SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPATCHメソッドで実行します。
	ODataサービス実行（PATCH）	SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPUTメソッドで実行します。
	ODataサービス実行（DELETE）	SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのDELETEメソッドで実行します。
	ODataアクション実行	SAP S/4HANAのODataアクションをHTTPのPOSTメソッドで実行します。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

専用アダプタの利点について
（RESTアダプタとの比較）

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

専用アダプタの利点について（RESTアダプタとの比較ポイント）

専用アダプタではSAPの仕様に応じた設定項目が用意されていますが、汎用アダプタではスクリプトの作り込みが必要です。

専用アダプタの利点	専用アダプタの設定（例）	汎用アダプタの課題	汎用アダプタの設定（例）
スキーマ自動設定 SAP S/4HANA ODataへの接続APIである「V2」「V4」に対して、バージョン毎に異なるリクエスト、及びレスポンスのデータ形式に捉われずスキーマの自動設定が可能。	①　入出力スキーマの設定はエンティティタイプ一覧を取得 ②　エンティティタイプからプロパティ一覧を取得	スキーマ設定用のファイル準備や読み込みなどの事前準備に手間がかかってしまう。	①　レスポンス設定のデータ出力先でファイルを選択し、スキーマ作成に必要なファイルを出力するよう指定 ②　スクリプトを一度実行し、スキーマ設定用ファイルを作成 ③　Mapperにスキーマは作成されていないため、「コンポーネント/ファイルからスキーマを読み込む」を選択 ④　XMLファイルから読み込みで「２」で作成したファイルを指定
ページング設定 大量データを取得するときのページング設定が、専用アダプタの場合はアダプタ設定の中でできるため、スクリプト開発時の工数を大幅に削減することが可能。	①　ODataサービス実行（GET）コンポーネントでページング処理を有効にし、取得件数を指定	ページング処理を実装するために、ループ処理など繰り返しロジックの作成の手間がかかってしまう。	①　対象のデータ件数を取得（繰り返し回数を指定するため） ②　データ件数から何回実行するかを決める ③　「２」で決めた回数分ループ処理を行う ④　スクリプト変数を使用し、データ取得件数とデータ読み取り開始位置を指定したGET処理を実行 ⑤　データ読み取り開始位置のスクリプト変数をカウントアップ
CSRFトークン設定 SAPシステムで、セキュリティの観点から登録・更新・削除のリクエストを行う際に必要となるCSRFトークンをコンポーネント内で設定可能。	①　データ登録（POST実行）	登録 / 更新 / 削除リクエスト時にCSRFトークンをヘッダーに含める等の実装の手間がかかってしまう。	①　CSRFトークン格納用変数を準備 ②　CSRFトークン取得 ③　取得したCSRFトークンを変数に格納 ④　データ登録（POST実行） →ヘッダー情報にCSRFトークンを指定

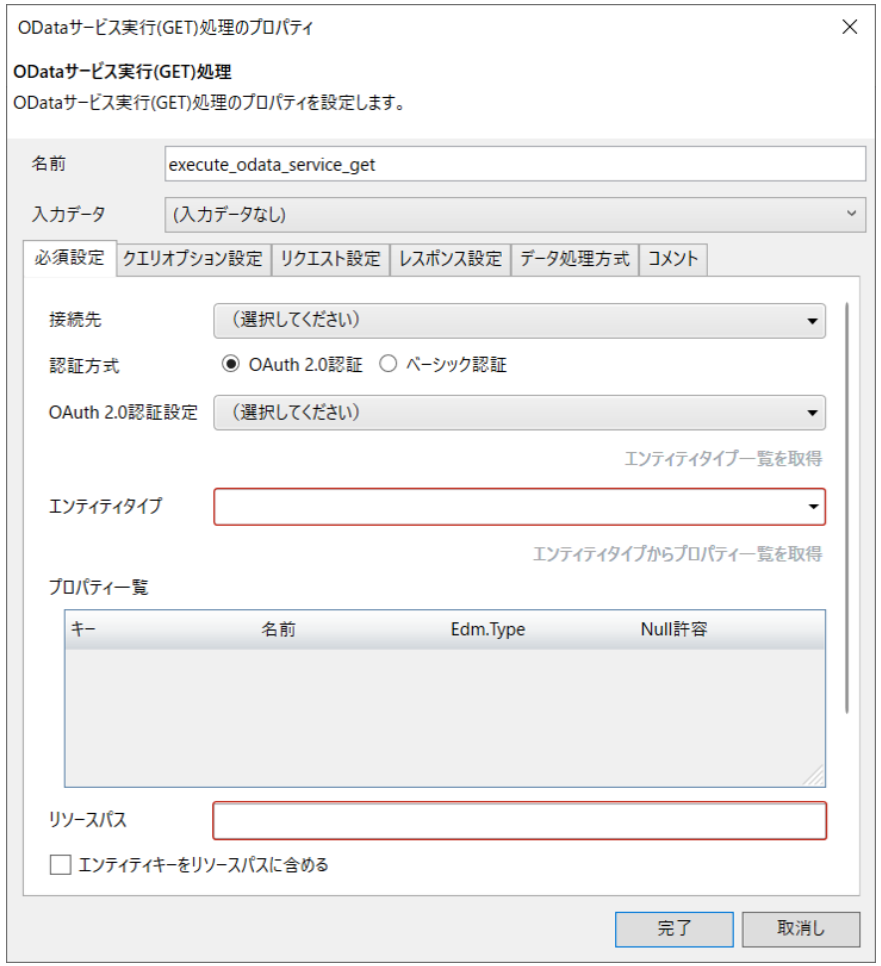
© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

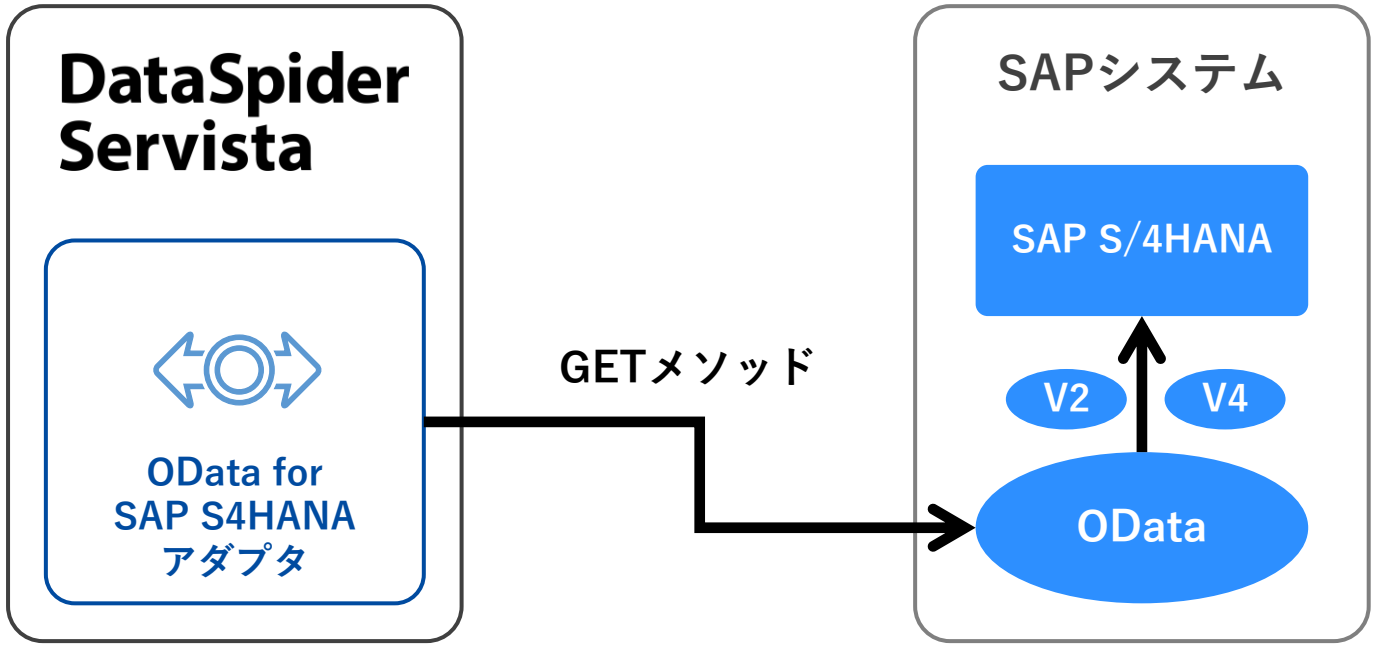
各種処理の設定

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataサービス実行（GET）処理

SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのGETメソッドで実行します。





※ [クエリオプション設定] タブの[ページングを有効にする] にチェックを入れた状態で、取得できるエンティティが0 件になるリクエストを実行した場合、以下のエラーが発生して処理が異常終了します。

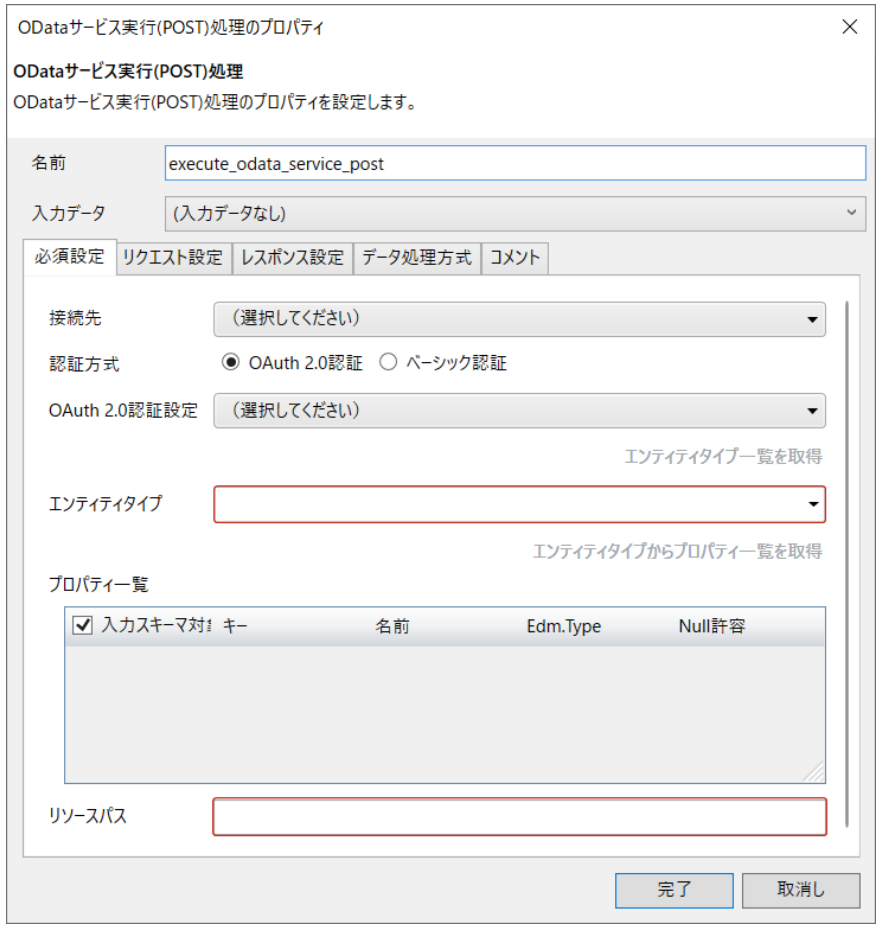
- OData V2 の場合: 「InvalidXMLStructureException」
- OData V4 の場合: 「NullPointerException」

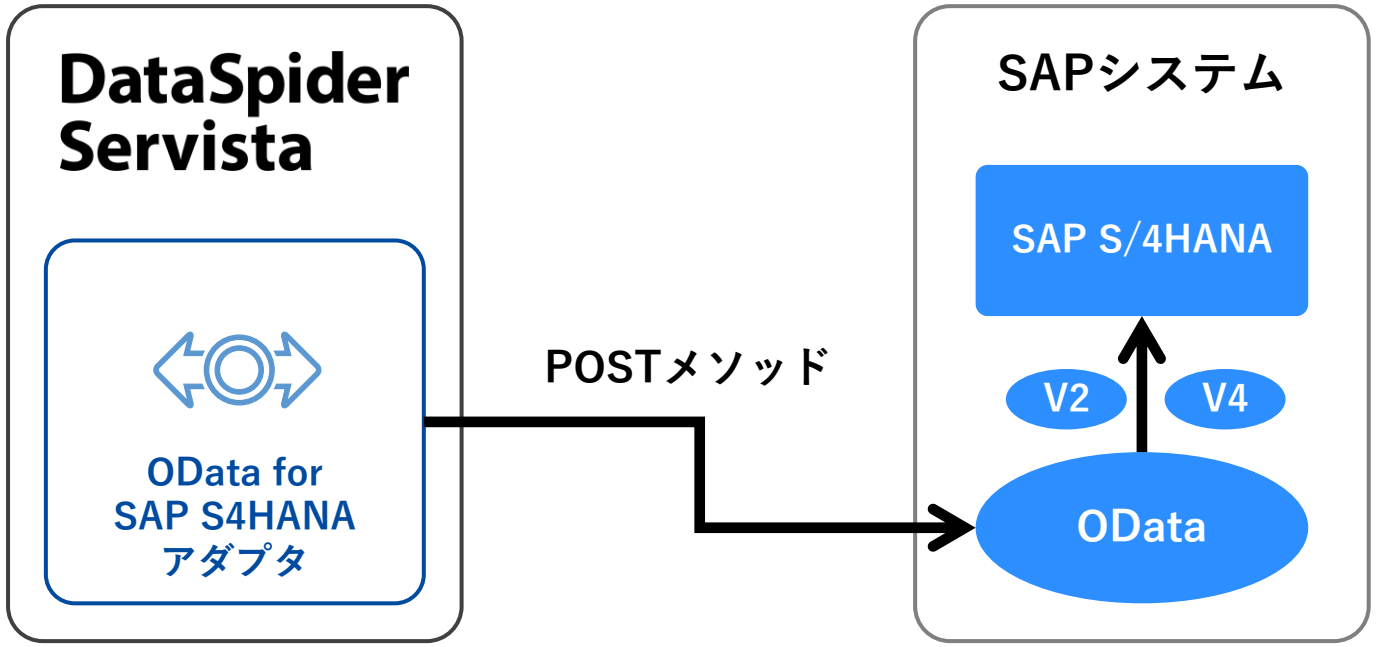
※ [クエリオプション設定] タブの[1ページあたりの取得件数] に、SAP S/4HANA で 1 リクエストあたりに取得できるエンティティ件数の上限を超える値を指定した場合、一部のエンティティが取得されません。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataサービス実行（POST）処理

SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPOSTメソッドで実行します。



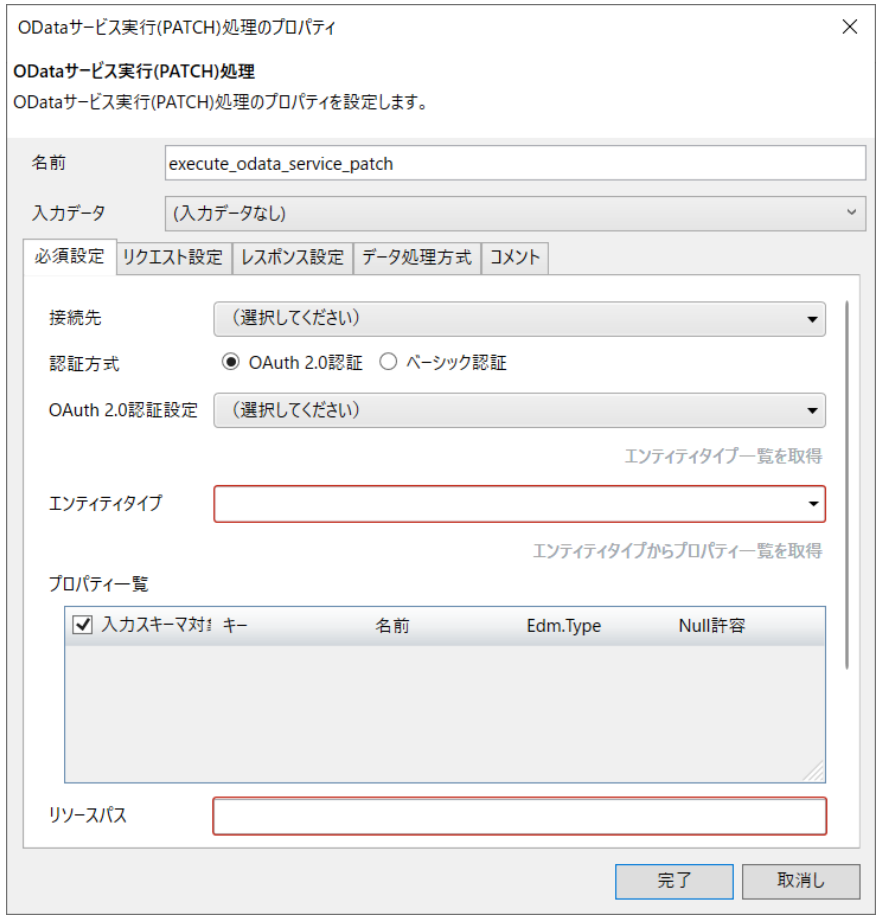


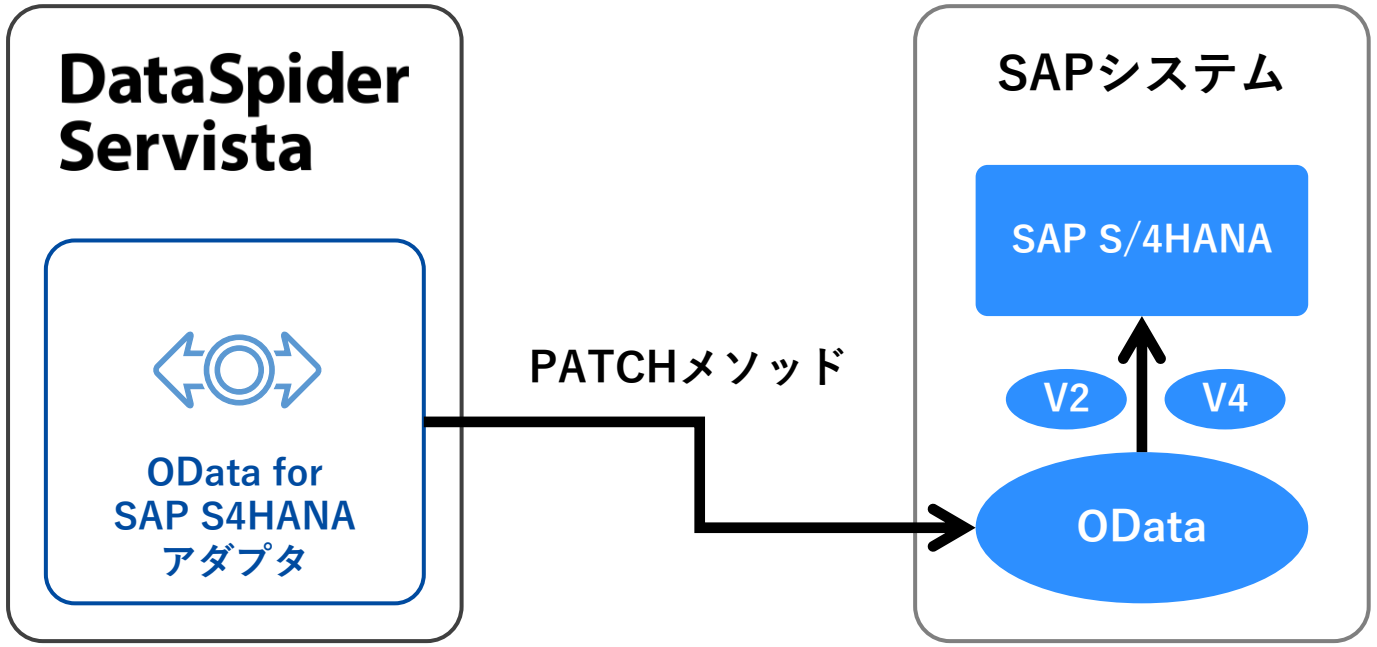
※ Edm.ComplexType 型のプロパティに Mapper でデータをマッピングして実行した場合、そのプロパティの構造がリクエスト本体に反映されません。
子要素が Edm.ComplexType 型のプロパティと同じ階層に格納された状態で送信され Edm.ComplexType 型のプロパティ自体の値は空になります。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataサービス実行（PATCH）処理

SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPATCHメソッドで実行します。



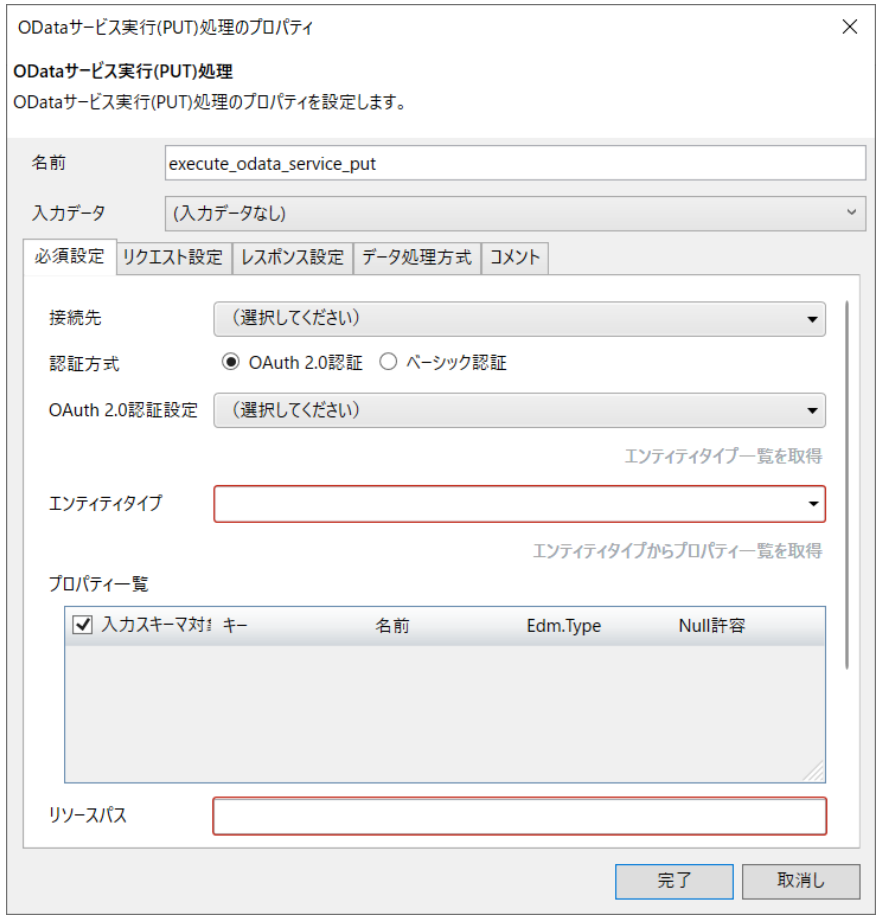


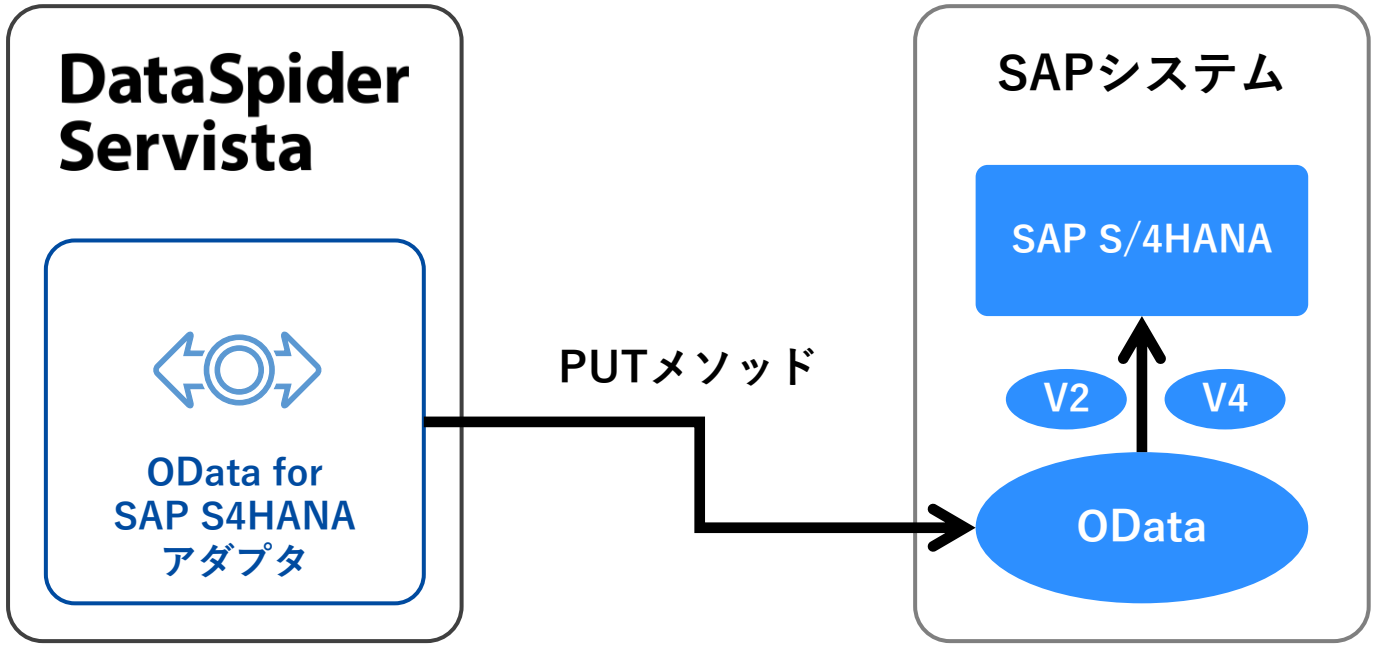
※ Edm.ComplexType 型のプロパティに Mapper でデータをマッピングして実行した場合、そのプロパティの構造がリクエスト本体に反映されません。
子要素が Edm.ComplexType 型のプロパティと同じ階層に格納された状態で送信され Edm.ComplexType 型のプロパティ自体の値は空になります。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataサービス実行（PUT）処理

SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのPUTメソッドで実行します。



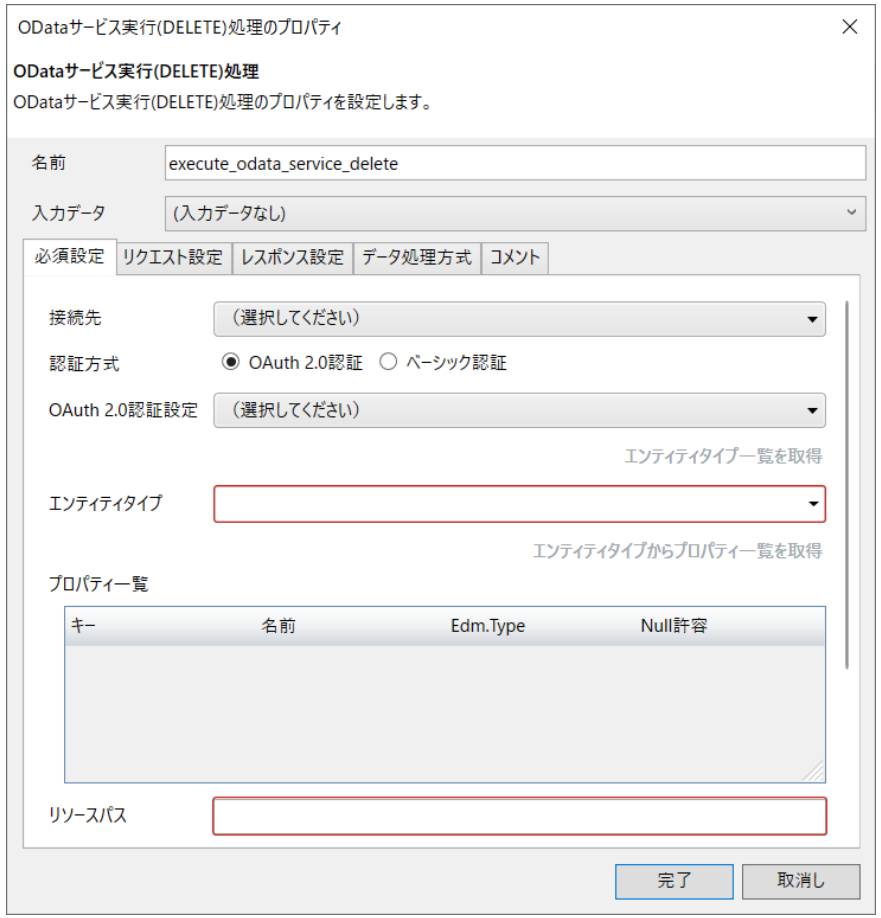


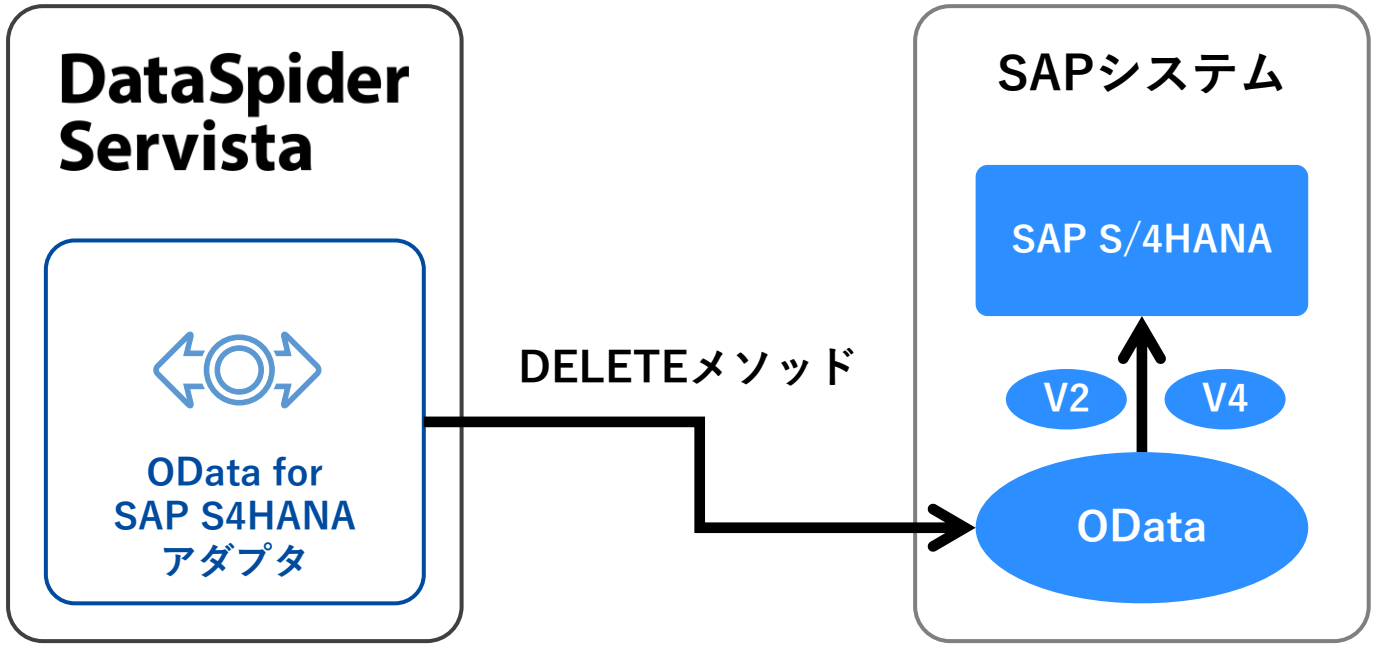
※ Edm.ComplexType 型のプロパティに Mapper でデータをマッピングして実行した場合、そのプロパティの構造がリクエスト本体に反映されません。
子要素が Edm.ComplexType 型のプロパティと同じ階層に格納された状態で送信され Edm.ComplexType 型のプロパティ自体の値は空になります。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataサービス実行（DELETE）処理

SAP S/4HANAのODataサービスAPIをHTTPのDELETEメソッドで実行します。

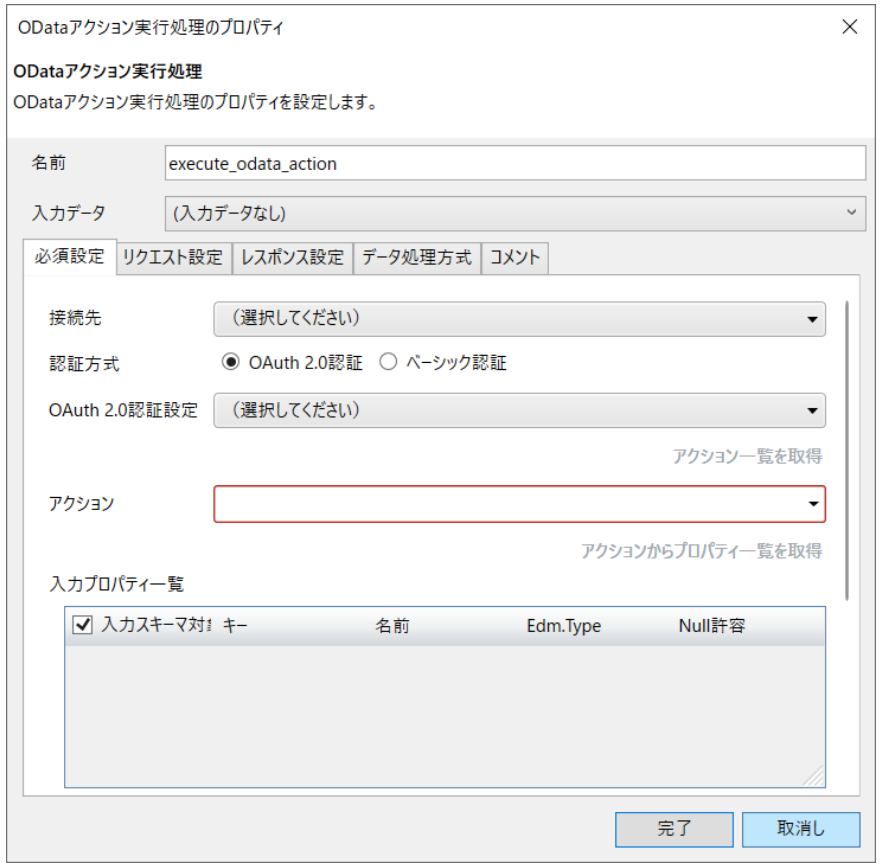


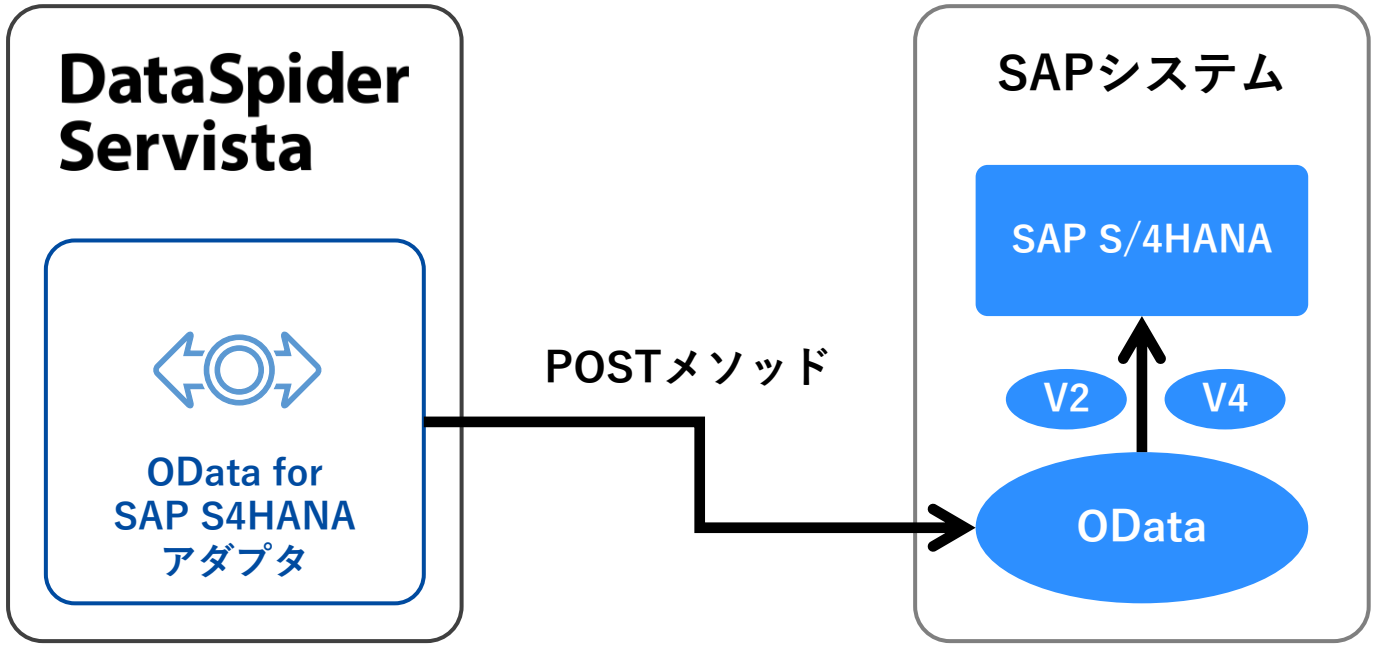


© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

ODataアクション実行処理

SAP S/4HANAのODataアクションをHTTPのPOSTメソッドで実行します。





© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

SAP関連アダプタ機能比較

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

各種SAPアダプタの機能比較

	SAPアダプタ	SAPテーブルクエリアダプタ	OData for SAP S4HANA アダプタ
オペレーション	• ビジネスメソッド実行 • アウトバウンド入力 • アウトバウンド出力	• データ取得	• GET実行 • POST実行 • PUT実行 • PATCH実行 • DELETE実行 • アクション実行
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	（直接SAPのテーブル/クエリからデータ抽出）	ODATA
サポートプラットフォーム	Windows / Linux	Windows / Linux ※1	Windows / Linux
接続先SAPバージョン	• SAP ERP 6.0(mySAP 2005) • SAP S/4HANA • SAP S/4HANA Cloud	• SAPシステム • SAP S/4HANA • SAP ERP 6.0	• SAP S/4HANA • SAP S/4HANA Cloud Public Edition • SAP S/4HANA Cloud Private Edition
事前準備	• ライブラリのインストールが必要	• コンフィグレーションツールのインストールが必要 • ライブラリのインストールが必要	―
特長	• リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ • グローバルリソースに対応	• 大容量データのデータ抽出に適したアダプタ	• グローバルリソースに対応 • ベーシック認証とOAuth 2.0認証をサポート
価格 ※2	ライセンス：2,800,000円 年間保守料：560,000円/年（通常保守）	ライセンス：2,400,000円 年間保守料：480,000円/年（通常保守）	ライセンス：1,200,000円 年間保守料：240,000円/年（通常保守）

※1 Linux版は下記のOSをサポートします。環境設定については、「SAPテーブルクエリアダプタ セットアップガイド」を参照してください。
Red Hat Enterprise Linux Server 6.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 7.x (x64版)、Red Hat Enterprise Linux Server 8.x (x64版)、
CentOS7.x (x64版)、Oracle Linux 7.x (x64版)、Oracle Linux 8.x (x64版)
※2 通常保守のサービス時間は、日本時間の月曜日～金曜日 9:30～17:00（祝祭日および12/30～1/3を除く）となります。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026

各種 ERP Adapter for SAP 機能比較

	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Basic	DataSpider Servista ERP Adapter for SAP Table Query
インバウンド処理	可	ー
アウトバウンド処理	可	ー
トランザクション処理	可	ー
TID管理	可	ー
対応インターフェース	BAPI、IDOC、RFC、ALEの全て	（直接SAPテーブル/クエリからデータ抽出）
大容量データ処理※1	不可	不可
サポートプラットフォーム	Windows / Linux※2	Windows / Linux※2
接続先SAPバージョン	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA	SAP R/3 4.7、SAP ERP 6.0、SAP S/4 HANA
事前準備	SAP Java Connector 3.x SAP Java IDoc Class Library 3.x Microsoft Runtime C++ ライブラリ（Windows環境への導入時のみ）	コンフィグレーションツールのインストールが必要
特長	リアルタイムなデータ連携に適したアダプタ。 トランザクション処理が可能。	大容量データのデータ抽出に適したアダプタ。

※1 大容量データ処理とは、DataSpiderが搭載している、大容量データを処理する際に必要な最低限のデータのみメモリに格納し、ほかのデータをファイルに保存することで、大容量のデータの処理を実現する機能です。
※2 必要なソフトウェアおよびLinux版のサポート対象OSについては、「DataSpider ERP Adapter for SAP®インストール手順書」または「ConnectPlusEtセットアップ 事前準備」ドキュメントを参照してください。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026



＜免責条項＞

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Saison Technology Co.,Ltd. 2026